

1. 日 時 令和5年 6月14日（水）18：00～19：10
2. 場 所 鴻池小学校 視聴覚室
3. 参加者 協議会委員 : 阪田会長・寺井副会長・北田委員・堤委員・吉田委員
小西委員・濱崎委員・照喜名委員
教職員 : 宮谷校長先生・安井教頭先生
その他 : 寺井コーディネーター
教育委員会より：二宮教育委員・橋本指導主事

4. 学校長あいさつ

今年度が始まり2か月が過ぎた。先週は6年生が修学旅行に行き、無事に終了することができた。来週は5年生の自然学校がある。また、水泳の授業も始まる。

今年度の本校のキャッチコピーは、昨年度と変わらず『失敗を恐れず、まずは、やってみよう』である。子どもたちには、始業式で「ファーストペンギンになろう」という話をした。「ファーストペンギン」とは、リスクを恐れず初めてのことに挑戦する人のことを言う。「だめだったら、やめたらいい、まずはやってみよう」という意識が、子どもたちにも先生たちにも根付いてきたように感じている。これからさらにそれを育て、「笑顔あふれる学校」にしていきたい。

現在、本校の課題としては、大きく3つある。

①自尊感情

②基礎学力の定着

- ・昨年度の全国学力・学習状況調査の結果を見ても、算数の基礎的な学力に課題があるので、昨年度末よりたしかめのテスト、朝学習の徹底に取り組んでいる。

③家庭での読書の推進

- ・PTAの皆さんのご協力もいただきながら、家庭での読書を推進している。しおりの作成や読書ボランティアによる読み聞かせ、ものしり博士委員会の子どもたちのおすすめ本の展示、雨の日の読み聞かせを実施している。

PTA、地域の皆さんと協力して、様々な取り組みを進めていきたいと考えている。今年度もご協力をお願いする。

5. 内容

(1) 学校運営協議会について

- ・各委員の自己紹介後、校長先生から、今年度よりこのいけ幼稚園の園長先生が委員として加わること、本会の会長は阪田委員、副会長は寺井委員が務められる旨、説明があった。

(2) 今年度の学校運営方針について

(資料に基づき、校長先生より説明)

- ・令和5年度の鴻池小学校のグランドデザインを一つの図にまとめている(HPにも掲載)。学校教育目標は今年で4年目となるが、「ひとみ輝き笑顔あふれる鴻池小学校」である。この教育目標に向けて、今年度から「家庭との連携・協働」「地域との連携・協働」を図に加えている。家庭・地域と学校が連携・協力しながら、様々な取り組みを進めたい。

また、子どもたちの学びの場は、子どもが主語になる場所であるべきだ。子どもたちが自ら進んで活動できる学校にしたい。

「めざす学校像」として、3点あげている。

- 子どもたちが自主的・主体的に活動し、活気に満ちた学校
- 家庭・地域から信頼される開かれた学校
- 教職員にとって、やりがいがあり、和を大切に協力し合える学校

また、「めざす教師像」として、子どもの未来や夢の実現のために学び合い、努力を続ける教師などをあげている。

「めざす子ども像」としては、

- 自ら考える子
- 心豊かな子
- たくましい子

をあげている。主体的で自らあいさつできる心優しい子、最後まであきらめない子を育てたい。

本年度の指導の基本方針としてあげているのは、自己有用感、主体性、多様性の育成である。そのための重点プランとして、3点を実施する。

①確かな学力の育成

- ・基礎的な学力の向上をめざす。家庭学習の充実を図る。週末は家庭で読書をしてもらうため、宿題を出している。また、今年度より「家庭学習の手引き」を全保護者に配布し（HPにも掲載）、具体的に家庭で取り組んでほしい学習、各学年で身につけたい力を明示している。

②豊かな人間性・社会性の育成

- ・自尊感情の向上については、今年度もPTAで「ほめてもら王カード」に取り組んでいただく予定である。6年生で実施した全国学力・学習調査のアンケートでも自尊感情に関する数値は82%となっており、確実に伸びている。異学年交流等、様々な活動を通して、自分が誰かの役に立っているという気持ちが子どもたちの中で育ってきているように感じる。

③たくましい心身の育成

<主な質疑応答 ●：委員 ○：回答>

●家庭学習の手引きは、誰に配布されているのか。

○保護者、教職員に配布している。HPにも掲載している。家庭学習の手引きのほかに「こうくんナビ」も配布・配信している。「こうくんナビ」については、今年度より主要な年間行事も記載し、これを見れば、学校の予定・ルール・自然災害時（台風・地震等）の対応・各種問い合わせに関する情報が一目でわかる。

●「めざす教師像」を実現するために、先生たちをどのように育てていこうと考えているか。

○先生たちには責任を持たせたいと考えている。先生には校務分掌がある。それに則り活動しているが、一人一人が責任を持ち、リーダーシップをとるように心がけている。算数、国語、体育、図書・・・など担当は分かれているが、各分野で一人一人がリーダーになれるようにしたい。

例えば、今年度より図書の担当者が変わり、子どもたちによる読み聞かせ・展示、保護者による読書ボランティアなど、新しい取り組みが始まった。昨年度は学校評価に関するアンケートにおいて、家庭での読書の項目が39%と顕著に低い数値だったため、その数値をあげるため、様々な取り組みを行っている。

- チームとして、個々の先生を支援する体制はあるのか。
- 本校は先生同士が協力し、支援しあえる環境がある。先日も初任者の研修があったが、学年の先生だけでなく、他学年の先生も多く参観していた。お互いを高めあおうという意識があり、若い先生もその中に参加しやすい雰囲気がある。教室も常に入ることができるように扉を開けている。
- 誰でも教室に入れるのか。中学校は廊下も狭く、教室の中が見えにくい。
- 教室はテストの時以外、基本的に扉が開いているので入ることができる。できる限りオープンにしている。
- 個々の先生が孤立しないような環境づくりをしてほしい。
- 本校は伝統的にそのような環境ができています。先生方はみんな前向きでコロナ時も「できないなら、何か違う形でやってみよう」という空気があった。コロナ以降もその良い雰囲気は継続できている。また、令和5年度の学校評価総括表を用い、常に客観的に今の業務が学校教育目標と照らしてどうなのかを考えるようにしている。みんなが目標達成に向けて同じ意識をもつことで、良い雰囲気・環境が整っていくと思うので、常に立ち返ることができるように意識づけをしている。

(3) 学校の様子について

(「学校通信」に沿って、校長先生より説明)

【チーム鴻池】

- ・50名の教員で活動している。新しい教員は8名。

【給食】

- ・4月12日(水)から給食が始まり、最初は席を花形に配置して食べていたが、5月8日(月)からはコロナ以前の形に戻し、4～5人の班で食べる形になっている。1年生は、4月24日(月)から給食が始まり、最初は前を向いて食べていたが、5月1日(月)から班で食べている。
- ・給食が班で食べる形となったころから、授業の座席についても2人ずつ机をくっつけている学級もある。

【夏野菜】

- ・2年生が夏野菜を育てている。家庭に持ち帰るまでに少しでも大きく成長するよう、一生懸命育てている。

【掃除の指導】

- ・6年生が1年生の教室に行き、掃除の仕方を教えている。6年生は1年生をとっても可愛がっており、優しく教えている姿が印象的。本校の良き伝統である。

【読書ボランティア・委員の子どもたちによる読み聞かせ】

- ・本年度より保護者のボランティアによる読み聞かせが始まった。また雨の日の業間休みは、5、6年生の委員の子が読み聞かせをしてくれている。

【校区たんけん・町たんけん】

- ・3年生の校区たんけんでは保護者の方に入ってください、安全に実施することができた。
- ・2年生の町たんけんでも保護者の方にご協力いただいた。2年生は今年度も九九検定を実施する予定なので、そこでも保護者、地域の方にご協力いただき、進めたいと考えている。

【ヤゴとり】

- ・今年度は4月～5月上旬が温かかったこともあり、ヤゴが少なかった。

【家庭科】

- ・6年生は調理実習が始まった。「朝食のおかずを作ろう」ということで、自分たちで野菜いためを作っている。また、5年生も実習を始めている。コロナ以前のことができるようになっていく。

【修学旅行】

- ・今年度は食べ歩きを認めたので、子どもたちは片手に飲み物、片手にもみじまんじゅうを持ち、散策を楽しんでいた。厳島神社は大規模な改修工事が終わり、大鳥居の立派な姿をみることができた。

<主な質疑応答 ●：委員 ○：回答>

- 採ったヤゴはどうしているのか。
- 持って帰る子もいるが、教室で育てて観察しているクラスもある。子どもたちはトンボに孵したいと一生懸命育てている。
- 修学旅行に参加した子どもたちの様子、平和学習を受けた印象を聞きたい。
- 広島はサミット後ということもあり、観光客がとても多かった。資料館も人数制限がされているにもかかわらず、海外の方が多く、なかなか前に進めないぐらいの人だった。それは少しかわいそうだった。しかし、子どもたちは原爆ドームを実際に見学し、ピースボランティアの方からお話を伺い、「戦争の悲惨さ」「平和の大切さ」を改めて強く感じていた。やはり実際に見て感じる、そこに行ったからこそわかることが大きい。
- 小学校は、修学旅行当日のお弁当作りはなし、水筒も持参なしだったと伺った。
- 朝早くから保護者の方にお弁当作りをお願いするのは申し訳ないということと、暑さでお弁当の状態が心配なこともあり、業者に事前に頼み、お弁当を手配した。水筒についても、ペットボトルを3本ずつ、朝、ホテル到着後、次の日に配布することで対応した。足りない子は自ら追加で購入していたが、概ねそれで対応できていた。
- 中学校は人数も多いので、そのような柔軟な対応が難しいところもあり、うらやましく感じる。学校の様子（修学旅行や調理実習、異学年交流など）を伺い、コロナ以前のことができるようになっていると感じた。
- 音楽についても、歌、ピアノ、リコーダーができています。今年度は音楽会があるが、平常時の形で実施できると思う。水泳についても、昨年度は1クラスずつ入水していたが、一斉でできる。例年通り6月20日（火）からスタートさせる。
- 中学校は6月5日（月）から水泳の授業が始まっているので遅い印象を受けるが、水泳の時間が少なくなっているのか。
- 水泳の時間は、小学校は基本10時間となっている。
- その時間で泳げない子はどうなるのか。
- 10時間の授業で泳げない子を泳げるようにすることは非常に難しい。他の教科もあり、このあと体育大会の練習も始まるので、水泳の時間をこれ以上確保することは難しい。10時間という決められた時間内でやれることを実施する。5年生は、来週から1週間自然学校に行くので、特に時間数の確保が難しい。
- 自由プールはあるのか。
- 市内の各学校で実施されていた自由プールはなくなった。その代わりに、緑が丘プールが開放される。
- 特別支援学級の状況について、教えてほしい。
- 特別支援学級には50名近くの児童が在籍している。7学級を8人の教員みんなで見るということを基本として対応している。まずは国語、算数を中心に見る形。先生たちには個別それぞれの学びを大切にしてほしいと伝えている。国の方針は、半分は通常学級、半分は支援学級となっているが、その子に合わせた対応が必要。普通学級ではできることがどうしても限られる。その子に合わせて、理科や社会も見てあげたいが限界があるのが現状。
- 支援学級には途中から入ることもできるのか。
- 途中から入る子もいるが、保護者の同意がないと難しい。保護者とどういう風に話をしているか、段階を見ていく必要がある。

- 不登校、別室指導の子はどのくらいいるのか。
- 登校しにくい子どもはいるが、別室指導の子は、今年度はいない。子どもたちは休むことへのハードルが低くなっている。保護者もしんどかったらいいよという方が多い。教室に入りにくい子には個別に対応している。保護者と一緒に登校してくる子が増えている印象はある。どこで保護者と別れるかも様々。中には泣き叫ぶ子もいる。でも、何か学校でトラブルがあったというわけではなく、家がいいという理由が多い。コロナをはさみ、家で過ごす時間が多かったということもあり、家が居心地がいいというのもあると思う。
- そのような児童は教室に入ったら、どう過ごしているのか。
- 子どもによって様々だが、教室では機嫌よく普通に過ごしているケースも多い。学級担任、支援員みんなケアしながら、対応している。
- スクールカウンセラーの利用状況は？
- スクールカウンセラーの先生には毎週火曜日に来校いただき、尽力いただいている。事前予約制だが、いつも予約が入り、子どもたち・保護者の様々な悩み・相談に対応いただいている。専門家の観点からしっかり対応していただき、その果たす役割は大きい。
- PTAで学校に来させていただいているが、色々な子どもたちがいる中で、先生方が一人一人に真摯に対応してくださっていることを肌で感じている。また、先生方が様々な情報をタイムリーに発信してくださるので、保護者として非常に助かっている。他校に比べると本当に進んでいるなという印象がある。タブレットの利用についても、他市の保護者と話していて、とても進んで利用できていることがわかり、うれしく思う。
校長先生のお話にもあったが、今年度から「家庭学習の手引き」というものが配布され、家庭でも子どもたちに声掛けがしやすくなった。
- 様々な情報発信、タブレットへの対応などについては、学校としても常に変化を恐れず、時代に合わせて対応していきたいと考えている。
- 地域としては、今年度はわくわくサタデーさんとタイアップして、ハロウィンやクリスマス、走り方教室などを開催する予定。土曜スクールについては、5月に野球部、6月にバレー部とタイアップして開催したが、なかなか人が集まらない。一生懸命運営されているが、人手がない、お金がないという状況なので、地域としてその部分を支援していきたい。
- それは非常に良い。地域・保護者と協力・連携して進めていくことが大切なので、ぜひ推進してほしい。

(4) ふれあい清掃について

校長先生より、本件について、今年度は8月31日(木)13時30分から開始、5～6時間目を使って、5年生、6年生が主体的に活動する行事として実施するのでご協力をお願いしたい(7月に具体的な案内を発信する)、次年度以降は熱中症も心配なので、体育大会前のもう少し涼しくなったタイミングで実施したいと考えている旨、説明があった。

<主な質疑応答 ●:委員 ○:回答>

- 幼稚園の参加はどうか。
- 5、6年生が主体的に活動する行事ということなので、幼稚園がどのように参画できるかは、7月の具体案を見て検討したい。

6. 閉会あいさつ(阪田会長より)

私がPTAに携わらせていただいた2001年はちょうど池田小の事件があったときで、子どもの安全を前面に出す活動を行っていた。その時も、地域を巻き込んで進めていこうとよく話し合った。学校、PTA、地域が協力・連携し、子どもの安全・成長に関わっていかれたらと思う。本会もその一助として機能できればと思うので、みなさんのご協力をお願いしたい。